
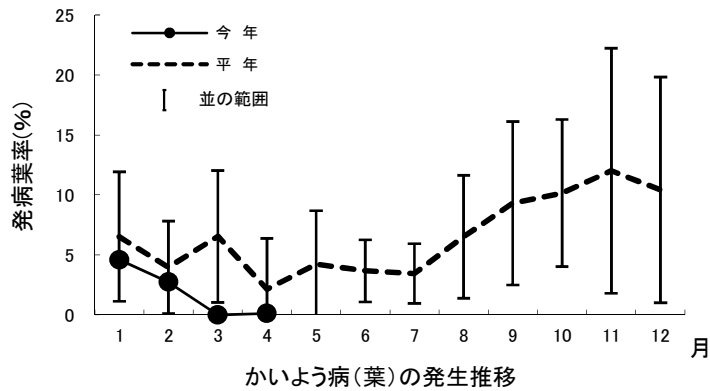


作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	① かいよう病		
4月の発生量 (現況)	並		
5月の増減傾向	↗		
増減傾向の根拠	発病葉率の平年の発生推移から、4月より発生量は増加すると考えられる。		

発生量の根拠 (調査結果)




防除のポイント

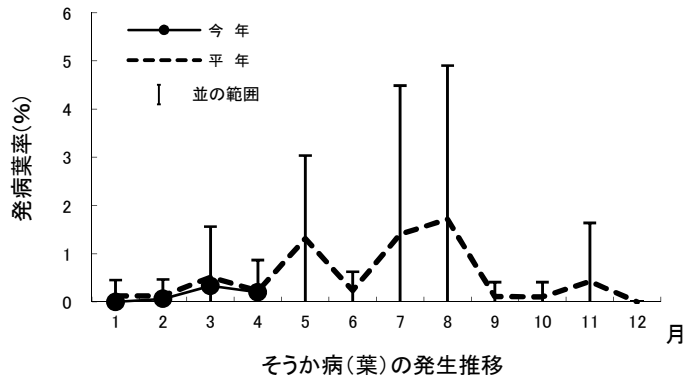
- ・ 本病はミカンハモグリガによる食害痕から侵入しやすい。
- ・ 罹病葉・枝は翌年の伝染源になるので除去する。



果実被害


作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	② そうか病		
4月の発生量 (現況)	並		
5月の増減傾向	↗		
増減傾向の根拠	発病葉率の平年の発生推移から、4月より発生量は増加すると考えられる。		

発生量の根拠 (調査結果)

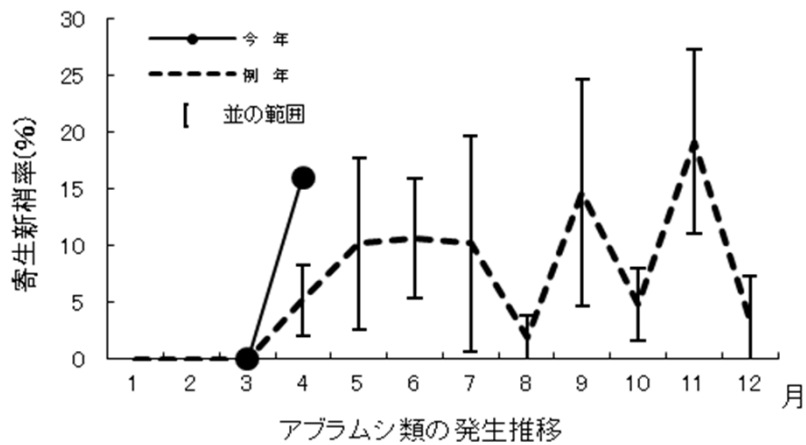


防除のポイント

- ・罹病葉・枝は翌年の伝染源になるので除去する。

作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	③ アブラムシ類		
4月の発生量 (現況)	やや多		
5月の増減傾向	↗		
増減傾向の根拠	寄生新梢率の例年の発生推移から、4月より発生量は増加すると考えられる。		

発生量の根拠 (調査結果)




- ・ 防除員報告：中発生 (本島北部)

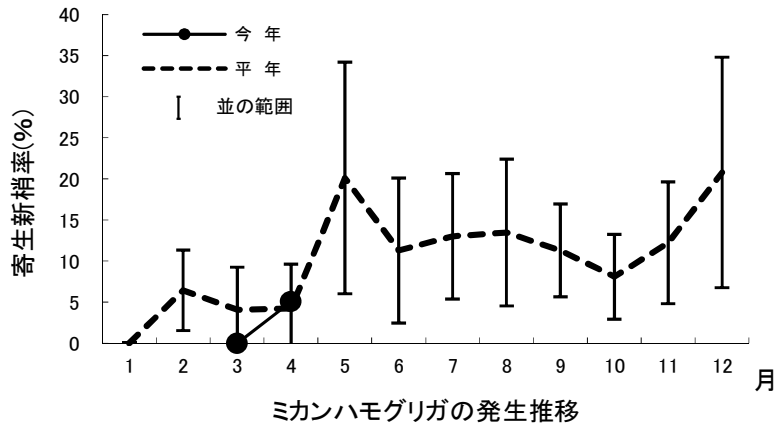
防除のポイント

- ・ テントウムシなどの天敵によって本種の増殖は抑えられるが、密度が高い場合には薬剤による防除を行う。
- ・ 新梢や新葉に寄生する。アリを探すことで、アブラムシの発見が容易になる。



作物	かんきつ（タンカン）	地域	沖縄群島
病害虫名	④ ミカンハモグリガ		
4月の発生量（現況）	並		
5月の増減傾向	↗		
増減傾向の根拠	寄生新梢率の平年の発生推移から、4月より発生量は増加すると考えられる。		


発生量の根拠（調査結果）



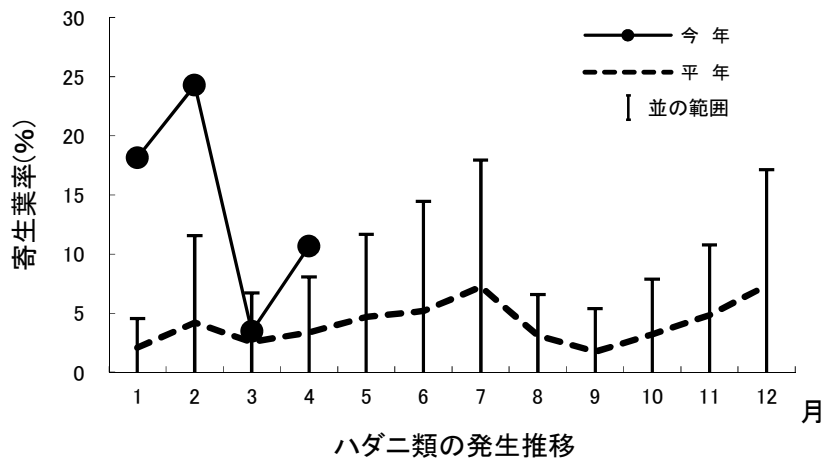
- ・ 防除員報告：中発生（本島北部）

防除のポイント

- ・ 本種による食害痕からかいよう病が発生しやすく、翌年の伝染源になるので、被害葉の除去に努める。
- ・ 被害が目立つ場合は薬剤による防除を行う。

作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	⑤ ハダニ類		
4月の発生量 (現況)	やや多		
5月の増減傾向	↗		
増減傾向の根拠	寄生葉率の平年の発生推移から、4月より発生量は増加すると考えられる。		

発生量の根拠 (調査結果)



防除のポイント

- ・ 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。



ハダニの寄生による葉のかすれ症状